Ver.20250401

記入要領、記入例（青字）は削除して提出ください

**（計画書様式1）**

【本計画書】は、本事業の基本計画です。誤読を誘わない、わかりやすい表現での記入を心がけてください。

採択通知に採択の条件やコメントがある場合、それを反映してください。

申請書にもとづいた記載であっても、JSTから変更の検討を依頼させていただく場合があることをご了承ください。

フォントはMS P明朝、サイズは10.5とし、行間は固定値18としてください。

**国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）**

**次世代AI人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）**

**令和7年度計画書**

○○○○年○月○日提出

**基本情報**

|  |  |
| --- | --- |
| プロジェクトの題目 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |
| 申請大学名 | ○○法人○○大学 |
| 事業統括 | 氏名 | ○○　○○ | 職名 | ○○○○○○○○ |
| 電話番号 | ○○○○○○○○ | メールアドレス | ○○○○○○○○ |
| 所属 | ○○○○○○○○ |
| 研究倫理受講番号 | ○○○○○○○○ |

※ 事業統括においては、採択の際、貴学独自の研修または「eAPRIN（旧CITI）」の指定単元を受講・修了していただくことを義務づけております。

**改訂履歴**

本計画書様式1を改訂する際に使用する表です。

下記に変更内容等を記載の上、計画変更申請書または変更届と共に提出してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No. | 変更提出日 | 変更内容 |
| 例示 | 1 | 20○年○月○日 | 関連記載箇所（事業統括）の変更詳細は20○年○月○日付助成事業計画変更申請書を参照。 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**１．ビジョン**

**１－１.　方針・ビジョン（FY2028を目処に）**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

※ 原則、提案書から転記してください。

**２．目標（FY2028）　～次世代AI分野に限る～**

※ 次世代AI分野の博士後期課程について、下表に人数を記入してください。表の形式は変えないでください。



*注3:　就職者：自営業主等、無期雇用労働者、雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の有期雇用労働者および進学者のうち就職している者を含む。*[*https://www.mext.go.jp/content/20221221-mxt\_chousa01-000024177\_001.pdf*](https://www.mext.go.jp/content/20221221-mxt_chousa01-000024177_001.pdf)*の8ページを参照。学校基本調査に記載の臨時労働者（雇用契約期間が１か月未満で期間の定めのある者）、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が１か月以上1年未満の者は含まない。*※この黒字の注釈は削除しないでください。

**２－１．次世代AI分野の定義（補足）**

※ 次世代AI分野の定義（大学内での当該学生の集計方法など）について記載ください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**２－２．進路詳細の把握方法（補足）**

※ 修了者の進路の把握方法を記載ください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**２－３．支援する留学生が国家戦略分野のイノベーション創出や我が国の産業競争力強化に貢献するための取組や工夫（補足）**

※ 留学生を支援する場合、当該留学生が国家戦略分野のイノベーション創出や我が国の産業力強化に貢献するために、どのような取組を実施するのか、記載ください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**３．選抜・育成の体制・方針・計画**

**＜令和7年度のプロジェクト推進にあたっての全体方針＞**

|  |
| --- |
| ・例：令和6年度の○○○○○○という実施状況を踏まえて、令和7年度は○○○○○○の点を重視の上、プロジェクトを推進する。・・ |

※1 「２．目標（FY2028）」の達成に向け、特に「令和7年度のプロジェクト推進」で重視すべき点や方針を箇条書きで端的に説明ください。なお、令和6年度の実施状況や反省点も踏まえて記載ください。

※2 上記全体方針に基づき、必要に応じて以下「３－１.」「３－２．」へ追記・修正ください。

**３－１．　実施計画概要**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | FY2024 | FY2025 | FY2026 | FY2027 | FY2028 |
| **（１） 学生の募集、選抜（博士後期課程学生の募集・選抜の他、周知活動など）** |
| 実施項目名①：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |  |  |  |  |  |
| 実施項目名②：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |  |  |  |  |  |
| **（２） 次世代AI人材への育成の取組（例：データへのアクセス、高性能計算機環境の提供、独自財源による追加研究費支援やRA・TA経費支援、国内外の研究機関や企業との共同研究、育成チーム等によるメンタリング、研究進捗管理、学生交流、AI関連技術動向に関する勉強会など）** |
| 実施項目名①：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |  |  |  |  |  |
| 実施項目名②：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |  |  |  |  |  |
| **（３） AI以外の分野を専門とする学生への育成の取組（上記２．を除く）** |
| 実施項目名①：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |  |  |  |  |  |
| 実施項目名②：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |  |  |  |  |  |
| **（４） 次世代AI分野の研究人材確保に向けた取組（博士前期課程からの優秀な学生の進学、他分野を専門とする学生のAI分野への展開など）** |
| 実施項目名①：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |  |  |  |  |  |
| 実施項目名②：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |  |  |  |  |  |
| **（５） その他：上記以外の選抜学生への取組（例：SPRINGとの連携（キャリアパス支援）など）** |
| 実施項目名①：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |  |  |  |  |  |
| 実施項目名②：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |  |  |  |  |  |

※1 後述の３－２．「選抜・育成の実施計画」の各項目について、実施項目名を対応の上、具体的なスケジュール（企画・検討、実施、フィードバック等）を記載ください。

※2 必要に応じて行を追加ください。実施予定がない場合、実施項目名①には「なし」と記載し、実施項目名②は削除ください。

※3 フォントサイズ9、行間固定値12で記入ください。

**３－２．　育成の実施計画**

※ 本年度に実施予定であるものについてのみ、申請書様式1より記載ください。

※　学生の募集・選抜は５．に記載ください。

※　実施内容が複数ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。実施内容が１つのみの場合は、②の行は削除ください。

　※「（１） 学生の募集、選抜」は、５．に記載ください。

|  |
| --- |
| **（２） 次世代AI人材への育成の取組****（例：データへのアクセス、高性能計算機環境の提供、独自財源による追加研究費支援やRA・TA経費支援、国内外の研究機関や企業との共同研究、育成チーム等によるメンタリング、研究進捗管理、学生交流、AI関連技術動向に関する勉強会など）** |
| 実施項目名① | 実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。３－１の実施項目名と対応させてください。 |
| 令和6年度の実施状況および反省点① | 実施状況については、良かった点・悪かった点に分けて、端的に記載ください。 |
| 実施内容① | 令和6年度の実施状況や反省点を踏まえて、変更点があれば反映ください。 |
| 期待される効果① |  |
| 対象学生（数）① |  |
| 実施回数・日数等① |  |
| 実施項目名② | 実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。３－１の実施項目名と対応させてください。 |
| 令和6年度の実施状況および反省点② | 実施状況については、良かった点・悪かった点に分けて、端的に記載ください。 |
| 実施内容② | 令和6年度の実施状況や反省点を踏まえて、変更点があれば反映ください。 |
| 期待される効果② |  |
| 対象学生（数）② |  |
| 実施回数・日数等② |  |

|  |
| --- |
| **（３） AI以外の分野を専門とする学生への育成の取組（上記を除く）** |
| 実施項目名① | 実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。３－１の実施項目名と対応させてください。 |
| 令和6年度の実施状況および反省点① | 実施状況については、良かった点・悪かった点に分けて、端的に記載ください。 |
| 実施内容① | 令和6年度の実施状況や反省点を踏まえて、変更点があれば反映ください。 |
| 期待される効果① |  |
| 対象学生（数）① |  |
| 実施回数・日数等① |  |
| 実施項目名② | 実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。３－１の実施項目名と対応させてください。 |
| 令和6年度の実施状況および反省点② | 実施状況については、良かった点・悪かった点に分けて、端的に記載ください。 |
| 実施内容② | 令和6年度の実施状況や反省点を踏まえて、変更点があれば反映ください。 |
| 期待される効果② |  |
| 対象学生（数）② |  |
| 実施回数・日数等② |  |

|  |
| --- |
| **（４） 次世代AI分野の研究人材確保に向けた取組****（博士前期課程からの優秀な学生の進学、他分野を専門とする学生のAI分野への展開など）** |
| 実施項目名① | 実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。３－１の実施項目名と対応させてください。 |
| 令和6年度の実施状況および反省点① | 実施状況については、良かった点・悪かった点に分けて、端的に記載ください。 |
| 実施内容① | 令和6年度の実施状況や反省点を踏まえて、変更点があれば反映ください。 |
| 期待される効果① |  |
| 対象学生（数）① |  |
| 実施回数・日数等① |  |
| 実施項目名② | 実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。３－１の実施項目名と対応させてください。 |
| 令和6年度の実施状況および反省点② | 実施状況については、良かった点・悪かった点に分けて、端的に記載ください。 |
| 実施内容② | 令和6年度の実施状況や反省点を踏まえて、変更点があれば反映ください。 |
| 期待される効果② |  |
| 対象学生（数）② |  |
| 実施回数・日数等② |  |

|  |
| --- |
| **（５） その他：上記以外の選抜学生への取組（例：SPRINGとの連携（キャリアパス支援）など）** |
| 実施項目名① | 実施内容を表す項目名を記載ください（SPRING計画書と同じ項目名で記入ください）。 |
| 対象学生（数）① |  |
| 実施回数・日数等① |  |
| 実施項目名② | 実施内容を表す項目名を記載ください（SPRING計画書と同じ項目名で記入ください）。 |
| 対象学生（数）② |  |
| 実施回数・日数等② |  |

※ 「その他：上記以外の選抜学生への取組」においては、選抜学生にSPRINGにより提供する支援について、実施項目名、対象学生数、実施回数・日数等を記載下さい（実施内容や期待される効果については記入不要です）。

**４．支援枠数の推移・予算計画**

**４－１．　支援枠数の推移**

支援枠数（上限）:　○名　　←採択時に通知した人数を記載ください

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | FY2024 | FY2025 | FY2026 | FY2027 | FY2028 | 合計 |
| 各年度の支援枠数 | ○枠 | ○枠 | ○枠 | ○枠 | ○枠 | ○枠 |
| うち、新規選抜:○枠 | うち、新規選抜:○枠 | うち、新規選抜:○枠 |  |  |  |

（補足）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

■実施予算計画の考え方：

※ BOOSTでは支援人数ではなく、支援枠という考え方を採用しています。

※ 支援枠は１枠＝１名の割り当てとなり、期間は1年間です。このため、1人の学生に対して3年分＝3枠が割り当てられる想定です。このため5カ年の支援枠数の合計は採択時に通知した支援枠数（上限）✕３となります。これを超えない範囲で各年度の枠数を設定してください。

※ 秋入学の選抜学生は入学・修了が発生する年度においては、0.5枠でカウントしてください。

■研究奨励費（生活費相当額）、研究費について：

※ 研究奨励費と研究費の合計額は、3,900千円／枠・年度となります。研究費は0 円／年・枠は不可です。

※ 研究開発内容や学生の状況に応じて、学生毎に研究奨励費と研究費の配分を設定ください。（すべての学生で同額にする必要はありません。）

※ 研究奨励費、研究費の流用は不可としております。支援学生毎の研究奨励費、研究費の配賦予定額は計画書様式4予算計画書別紙に記載ください。

■計画変更・繰越について：

※ 支援枠は当初計画の通り執行いただきます。

※ 計画変更申請により当該年度の支援枠を減らすことが認められた場合には、その支援枠を次年度以降に使用することが可能です。支援枠の変更に関する計画変更申請は第３四半期（12月末）までに行ってください。

※ 計画変更ができる支援枠について、詳しくは令和6年4月28日付「次世代AI人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）支援枠管理について」の7頁をご参照ください。

※ 年度途中で選抜学生が辞退した場合には、月単位で別の学生と入れ替えて支援できます。入れ替える学生については学内規程等に基づき適切に選抜してください。

※ 年度途中の辞退後に学生の入れ替えを行わず未支援となった場合や、辞退後に次の学生の支援開始までに未支援期間が生じた場合は、未使用分として返還いただきます。

**４－２．　予算計画**

計画書様式４参照。

**５．学生の募集、選抜**

**①募集方法**

（方法を記載ください）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**②応募要件**

（要件を記載ください）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**③選抜方法・選考の観点（方針）**

（方針を記載ください）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

 ※1 事業の趣旨に沿って優秀な学生をどのように選抜するのか記載下さい。

※2他分野の学生を選抜する場合は、博士後期課程修了後に以下のレベルの次世代AI分野の研究者になる意欲・ポテンシャルのある学生を選抜してください。

★博士後期課程修了後のイメージ

・博士号取得後は、我が国のイノベーション創出や産業競争力強化に貢献する次世代AI分野の研究者となることが望ましい。

・ただ単にAIを使うだけでなく、AIエンジニア・データサイエンティストとしてのスキルを持ち、これを駆使して、ご自身の研究を遂行するレベル（プログラミング、機械学習・アルゴリズム、データベース、数学・統計等のスキル）。

・進化の著しいAI技術をキャッチアップし、最適なAIをご自身の研究に導入できるレベル。

・AIの発展や他の研究への展開等につながると望ましい。

★評価指標

・支援期間中のご自身のAI研究の学会発表や論文発表を必須とします。

・情報系学会での論文発表や学会発表は非常に望ましいですが、必須ではありません。

※3 優秀な学生に博士後期課程への進学を促すような選抜時期・方法をご検討下さい。令和7年度以降に支援を開始する学生については、博士後期課程に進学する優秀な学生を増やす目的を達成するために、適切な時期に選抜を行うことを期待します。

※4 学内のBOOSTに係る選抜要綱（募集要項）を、計画書様式1別紙として別途提出してください。

本年度の目標値

|  |  |
| --- | --- |
| 採択率（倍率）　※今年度応募数／今年度選抜枠数 | ○○○ |

**④選抜体制**

計画書様式3参照。

**６．審査コメントとその対応**

**①**○○○○○○○○○○○○○○○○○○

対応：

・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**②**○○○○○○○○○○○○○○○○○

対応：

・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

※\_審査コメントに対するアクション、結果等を簡潔に記載してください。なお、全ての通知コメントではなく、対応が必要となるもののみ記載してください。

例）「外部との連携や、最先端のAI研究を指導・助言する育成体制の強化をご検討ください。」との審査コメントに対して、計画書において育成チームと選抜体制にて外部有識者として企業の開発部門統括者、ならびに学内で自然言語処理を専門とする研究者を追加し、その役割を明記することで対応した。（本計画書P○、計画書様式3推進体制表 参照）。

以上